

■ 氏名 伊藤武史

■ 所属先 Shisei Medical 株式会社

■ 参加した動機

弊社は、ジグリング（びんぼうゆすり様運動）という保存療法の普及を事業の中心に据え活動しておりますが、今後活動を継続してゆくためにも一度事業の方向性を検証する必要があるのではないかと丁度考えていた時にMIDに出会い、興味を惹かれ直ぐに申込を決めました。また、現在、主に医療機器の販売を行っておりますが、臨床の現場で医師とお話する場面も多く、製品の企画のお話をいただく機会もあるため医療機器の開発についての知識を身につける必要もありました。

今回参加させていただくことで、これらについて多くのことを学ぶことができ、今後の事業展開にも大いに役立ったと感じています。ありがとうございました。



**MIDに参加した感想**

目的：①自社の事業の方向性の検証  
②製品の開発手法の習得  
③社員育成プログラムの構築

**概ね達成**

ビジネスモデル      バランス      メディカルモデル

医療は経済活動か？・・・日頃の疑問・・・  
(医療の提供、サービスの提供、医薬品の提供、医療機器の提供...)  
ビジネスモデル・メディカルモデルのどちらに偏重してもダメ

**印象に残った言葉**

**Good Clinical Practiceに  
何かって、淘汰される・・・**

**病態** 主訴：股関節痛、歩行障害など

前期 初期 進行期 末期

**変形性股関節症**  
約300万人患者

特徴：進行性の慢性疾患。約80%が女性。  
初診時年齢は50歳代が最も多い。  
発症は、30代後半～40代と言われている。  
(股関節に違和感を感じたらすぐに専門医に受診を！ Dr.'s message)

働き盛りの年齢層 → 発症 → スッキリ！ → できれば入院治療は落ち着くまで延期したい → 多忙な時期での手術回避

**【ニーズステートメント】**  
対象  
変形性股関節症進行期就労中の50代の患者さんにとって  
目的  
就労期間中での手術入院を防ぐために  
問題  
疼痛を緩和する方法